

金融とあなたをつなぐフリーペーパー

SPOCK

vol.
27
2023
SPRING



[独占インタビュー 1]
アライアンスバーンスタイン
世界有数の資産運用会社に学ぶ
投資の真価

[特別企画]
USIC × SMTAM 投資座談会
**投資をする女子は
カッコいい!**

[独占インタビュー 2]
木内孝胤氏に聞く
**金融のプロが
学生の疑問に答える**

[特別取材]
東証・企画担当者を突撃取材
JPX マネ部! ラボ・ポータルサイト始動!



学生投資連合
USIC
について

公式Twitter
@usic_spock



公式HP
<https://www.usic2008.org/>



設立	2008年
役割	学生に金融を学べる場+企業に学生とのつながりを提供
ミッション	学生の金融リテラシーを向上させる
ビジョン	学生から金融大国へ
活動拠点	オンライン上+東京都内(主に日本橋茅場町/兜町)

首都圏、関西圏の大学中心に北は北海道、南は九州まで全国規模

全国32大学

愛知工業大学	高崎経済大学	慶應義塾大学	神戸大学	國學院大学	上智大学	早稲田大学
京都大学	東京理科大学	中央大学	帝塚山大学	東京大学	桜美林大学	横浜国立大学
滋賀大学	北海道大学	東北大学	同志社大学	名古屋大学	東京経済大学	
西南学院大学	大阪大学	明治大学	武蔵大学	立教大学	フェリス学院大学	
専修大学	小樽商科大学	大阪商業大学	関西大学	九州工業大学	一橋大学	

合同勉強会の開催・意見交換会への参加

官公庁や国内外の資産運用会社、日本取引所グループ様のご協力のもと、勉強会を定期的に開催しております。その業界において第一線で活躍されている方々から直接お話を伺うことができます。不定期で官公庁などとの意見交換を通じて、学生側の金融リテラシー向上のみならず、仕組み・制度面から投資のしやすい環境作りにも積極的に取り組んでいます。昨年は、内閣官房の岸田政権の新しい資本主義政策立案勉強会に参加し、団体として岸田政権 資産所得倍増分科会メンバーとして政策立案に参画し、若者目線において金融経済教育のあり方、制度面の拡充など各種の意見提言を岸田首相や関係らに行いました。

金融情報誌 SPOCK の発刊 (累計発行部数 25 万部)

SPOCKは金融情報を掲載したフリーペーパーです。毎年発行しており、すべての記事を学生が執筆しております。学生目線での投資手法や最新の業界分析、著名人へのインタビュー記事などを掲載しており、投資初心者から熟練者まで楽しめる内容となっております。当雑誌はUSICに加盟している投資サークルを通じて全国の大学生、お付き合いのある企業・官公庁団体を通じて一般の方々へ広く配布しております。

IRプレゼンコンテストの開催

IRプレゼンコンテストは全国の大学サークルと上場企業様がチームを組み、学生がその企業のIRプレゼンを行い、競い合う大会となっております。各チームの市場・企業・財務の分析力、着眼点やプレゼン能力などが評価対象となり、毎年レベルの高い戦いが繰り広げられています。参加される企業様にとってはCSR活動の一環となることや自社株主様へのアピール、金融に関心のある学生と接点を持つなどのメリットが挙げられ、学生にとっても上場企業様と関わる事ができる数少ない機会となります。近年、新型コロナウィルス感染症の影響でオンラインでの開催となっていましたが、2023年2月17日に行われました第7回IRコンテストは対面での開催を行うことができました。

メディアでの発信

同世代(若年層)への投資や金融へのきっかけ作り・後押しのため、各メディア媒体様と連携しております。新聞・ネットメディアで連載企画を展開するほか、テレビ・ラジオなど幅広く発信しております。最近では、日本経済新聞、朝日新聞、ブルームバーグNHK、J-cast、ラジオNIKKEI、ストックボイスなど各種メディアにて取り上げていただきました。



出所：首相官邸ホームページ



COVER GIRL

東京大学
経済学部
長谷川遥花さん

ミス東大コンテスト2021にて準グランプリを受賞、その後セントフォースsproutに所属する。フェムテック事業に携わり、2022年3月に株式会社LapYSを設立した。



Fully InvestedSM
in Better
Outcomes

グローバルな資産運用会社として、
多様な視点やイノベーションを
積極的に取り入れることにより、
先行きの見極めにくい金融市場に
おいてお客様のお力になることを
目指しています。

アライアンス・バーンスタイン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

IPO投資って どうして儲かるの？

Writer 横浜国立大学 吉村具倫



IPO投資とは

これから新たに上場する企業に投資するIPO投資。IPO投資は高い確率で利益が見込める投資方法であるため、投資家から高い人気がありますが、なぜ高い利益を狙うことができるのでしょうか。この記事ではIPO投資の基礎から直近の動向について解説していきます。

IPO投資は、新規に証券取引場の上場する銘柄を上場前に購入し、上場後に売却することで差分による利益を狙う投資方法のことです。具体的には次の3つのステップに分けることができます。

まず、主幹証券にて口座を作成します。新規に上場する企業は、株式を新規発行する公募が既存株主が保有している株式を売却する売り出しにて、市場で流通させます。しかし、企業は直接市場に流通させてしまうとすべての株式を買ってもらえずに、資金調達を確実にすることが困難になる可能性があります。証券会社を通じて行います。ここで株式を最も多く引き受ける証券会社のことを主幹証券といます。証券会社側も売れ残ってしまうリスクがあるため、複数の証券会社がシンジケートを組み、分散させて引受をおこないます。

次に、抽選申し込みに応募します。IPO投資は銘柄によって人気度が異なりますが、決められた期間内に幹証券に抽選に申し込みする必要があります。(同期

間のことをブックビルディング期間と呼びます)証券会社に抽選方法が異なりますが、当選確率は1%程度とされています。当選することが非常に難しいため、引き受けている株数も多く、割り当てられる株数が最も多い主幹証券にて申し込みがお勧めです。ちなみに、2022年のIPOではSMBC日興証券が23件で最も多く主幹証券会社を務めました。もちろん、購入時に手数料等は支払う必要がなく、外れても料金を支払うことはないため、複数の証券会社にて申し込んで当選を狙うこともできます。こうしたリスクの低さは個人投資家にとって大きな魅力と言えるでしょう。

最後に、売却です。入金タイミングは抽選前が多いですが、一部証券会社では抽選後のため、当選していれば入金を行います。その後、企業が上場するのを待ち、投資家の皆様の任意のタイミングで売却し、利益を得るとい流れです。

ここで当選した場合に支払う価格を公開価格と呼びますが、この公開価格の決定方法は、「入札方式」か「ブックビルディング方式」(以下、BB方式)のいずれかが取られています。しかしながら、BB方式が導入された1997年9月以降は、最初の1ヶ月を除けば、全てBB方式が利用されており、入札方式が利用されることはないのが現状です。入札方式では、投資家が一定期間に希望価格を入札し、その結果を基に公開価格が決定されますが、公

IPO実績とその背景

公開価格が高騰しやすいというデメリットがあります。BB方式では、機関投資家からの意見をもとに、仮条件の価格帯を決めて、それを受けた一般投資家は仮条件の範囲内で価格や引受数などを提出し、需給状況をベースに公開価格が設定されるため、需要と供給のバランスがとれた価格の決定ができるBB方式が慣例となっています。これは株式を引き受ける証券会社にとって、公開価格が高くなり過ぎてしまうと、売れ残るリスクも発生するため、BB方式が選ばれる傾向にあります。

1991年のバブル崩壊後、新規上場する企業数が1/6まで減少しましたが、アジア通貨危機の発生した1998年を除き、1994年から2008年までは毎年100社を超える企業が上場しました。しかし、2008年9月にリーマンショックが発生し、新規上場する企業数が著しく低下し、翌年の2009年にはわずか19社しか上場に至りませんでした。リーマンショックによる影響はすぐには払拭できず、2012年まで50社以下で推移したものの、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略で構成されるアベノミクスの3本の矢の効果もあり、株式市場の市況が回復したことで、新規上場する企業も増進してゆき、

2021年には14年ぶりに1000社を超える結果となりました。

続いて、IPOした企業の初値騰落率を見てみましょう。「初値」というのは、新規上場する企業が上場後に初めて付ける株価のことで、この値と上場前に投資家らが購入した価格「公開価格」を比べてどれ

くらい初値が上昇したかを初値騰落率は表しています。ここでは1997年以降のデータで見ましょう。2008年のリーマンショックを除けば、平均30%以上の上昇率を出しており、100%を超える年、つまり2倍以上になる年もあるということです。しかし、この初値騰落率

は世界的に見ても高い水準で、Jay Ritter氏の調査によると、2021年末時点で50カ国中、第10位となっています。以下の表では、日米の初値騰落率を比較しています。2001年以降では、日本における初値騰落率は常に米国の初値騰落率を上回っています。

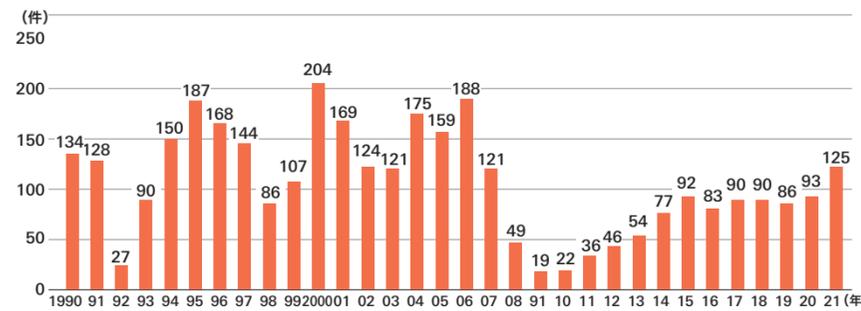
日本が持つ個別要因

では、なぜここまで大きく異なっているのでしょうか。米国市場と日本市場は密接に関係しており、「アメリカがくしゃみをすると日本が風邪をひく」とよく言われています。実際に2013年1月から2022年12月までの日経平均株価とダウ工業株30種平均指数の月次データの相関を取ってみると、0.957と非常に強い相関があることが証明されました。この背景としては、日本の株式市場における外国人投資家の比率は2021年度の東証第一部では金額基準で69.6%と高い割合を占めていることが挙げられます。それなのにもかかわらず、日本の方が米国よりも高い収益率なのはなぜなのでしょう。これは日本における公開価格が過小に設定されているからだと筆者は推測します。BB方式は元々米国のものを基に作成されているため、BB方式そのものに起因していません。この問題の背景にあるのが「仮条件」と「機関投資家への需要調査」な

仮条件は原則、日本において投資家の需要にかかわらず、仮条件の範囲外で公開価格が決まることは慣例としてありません。金子(2020)によると、BB方式導入後では過去に2度しかなく、米国においては、仮条件を超えて公開価格が決定されることがしばしばあり、2001年から2019年の間に上場した企業のうち、上限と下限を超過した企業がそれぞれ22%と33%もあるとの結果が得られました。また、同氏によると、日本では約70%が個人投資家であるのに対し、米国では同程度の割合を機関投資家が占めているため、購入する割合が低い日本の機関投資家が自らの評価に基づく意見を進んで述べているとは考えにくく、想定発行価格によるアンカリング効果も受けてしまっているのではないかと危惧しています。

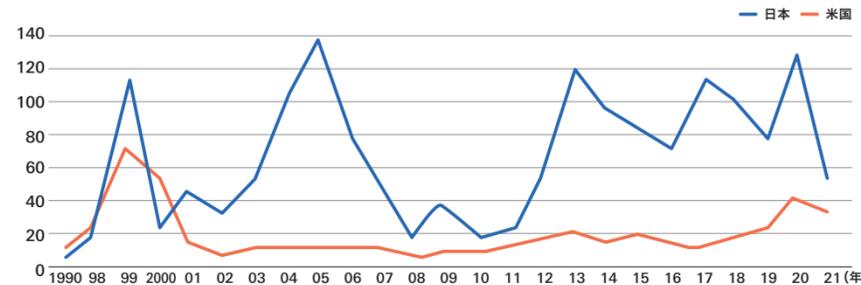
こうした現状を受け、2022年6月には日本証券業協会が割安な公開価格設定を防止すべく、証券会社が公開価格の算出過程とその根拠を企業に詳しく説明するように義務づけ、中期保有の機関投資家に新株を割り当てる際のルールも明確化することを明らかにしています。その5ヶ月後の2022年11月には仮条件の範囲を超えての公開価格の容認と「プレヒアリング」の拡充を開始すると表明しています。こうした状況を踏まえ、今後日本におけるIPOの初値収益率は変化するのででしょうか。今後の動向が目が離せません。

表1 IPO企業数(1990-2021)



引用元: 帝国データバンクの資料を元に筆者作成

表2 日米の初値騰落率(1990-2021)



引用元: Jay Ritter氏のHPを参照に筆者作成



OPINION
活発化するアクティビズム

日本の資本市場改革へ、アクティビズムが起爆剤に？

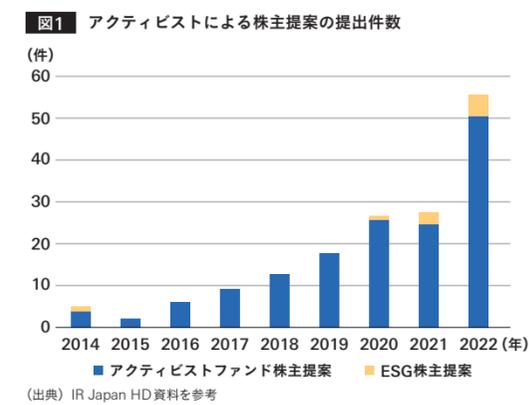
Writer 西南学院大学 佐藤隼瑛

近年の動向は？

近年、日本において、株主アクティビズムが前例のない盛り上がりを見せていることをご存知でしょうか？ IR Japan によれば、日本において、2022年に開催された株主総会での株主提案数が、過去最高を記録しています。本記事は、アクティビストについて、そもそもどのような投資家なのか、活発化した背景や今後の動向、そして日本の資本市場におけるアクティビズムの意義について、その概観をお伝えできればと思います。

アクティビストとは？

そもそもアクティビスト投資家とはどのような投資家のことか？



(出典) IR Japan HD資料を参考

アクティビズムの歴史

アクティビズムの歴史は、実は、株式会社の勃興期にあたる1600年代から行われていたと言われており、世界初の公開株式会社であるオランダ東インド会社さえ、小株主集団の圧力に晒されていたと言われています。その後、本格的なアクティビズムの動きは、第一次世界大戦時にアメリカで活発となり、現在、アクティビストの過半数は北米で行われています。日本を含むアジア太平洋地域が世界のアクティビスト・キャンペーン数に占める割合は20%弱で、特に日本では音沙汰なしというのが一般的に知られています。日本に焦点を絞ると、村上ファンドが台頭した

日本でアクティビストが活発化した背景

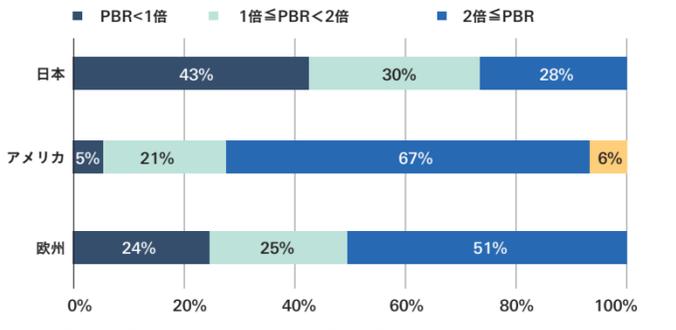
2000年代をアクティビズムの第1興隆期、「コーポレート・ガバナンスコード」改革及び、「スチュワードシップ・コード」改革が行われた2014年以降をアクティビズムの第2興隆期と整理されます。

第1興隆期は世界金融危機で衰退しましたが、2014年以降、再びアクティビズムが活発化しています。その背景には、世界的な金余りの状況やアクティビストが活躍できる環境が整ってきたことが挙げられます。特に後者は、上場企業が守るべき行動規範であるコーポレート・ガバナンスコードや、責任ある機関投資家の諸原則であるスチュワードシップ・コードが策定された影響が大きいです。これにより、アクティビストは他の株主も同意できるような対話（エンゲージメント）を積極的に引き出す内容も、取締役選任や事業戦略などガバナンス改革にまで踏み込む手法が増加しています。

日本の資本市場におけるアクティビズム

日本のプライム市場では、PBR1倍割れ企業が約半数を占めています。一般的にPBRが低いほど株価は割安な状態であると判断されており、時価総額が大きい大規模株で構成される指数のPBRを各地域で

図4 TOPIX500、米S&P500種株価指数、STOXX 欧州600指数採用企業のPBR内訳



(出典) 日本経済新聞 2022年12/19 「パンドラの箱」開けた東証 PBR1倍割れにメスを参考

アクティビストから学ぶバリュー株投資

上記の通り、アクティビストは企業の経営や資本政策の改善によってリターンを狙うため、PBRやROEが低い銘柄がターゲットになりやすいです。しかし、アクティビストが投資を開始したということは「プロの投資家がリターンを上げるといふ決意をした」ということであり、長期的な

図2 アクティビストの一般的な戦術フローチャート

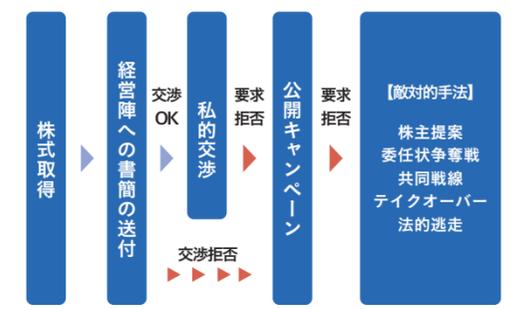


図3 フロー過程の用語解説

フロー	フロー過程の説明
株式取得	ターゲット企業（何らかの理由で業績が上がらない企業）の特定
経営陣への書簡の送付	アクティビストの要求内容が書簡へ記載
私的交渉	書簡の内容を通して、アクティビストと経営陣の私的交渉
公開キャンペーン	私的交渉が断然した場合や、要求が拒否された場合、メディア等を通して世間へ公開 それでも要求が拒否された場合、以下のような敵対的手法をとる。 ・委任状争奪戦（プロキシ・ファイト）＝どちらを支持するか一般株主を含め、問う ・共同戦線（ウルフ・バック）＝複数のアクティビストの共同して要求を通す ・テイクオーバー＝市場で段階的に株式を取得、実質的支配権を握るまで保有比率を高める ・法廷闘争＝投資先の会社の役員をかぶる代表訴訟で訴える
敵対的手法	

図5 アクティビストが大株主（5%以上）に登場しているかどうか、EDINETを活用した調べ方



視点で企業価値を伸ばす場合、一つの投資戦略及び、バリュー株投資を学ぶ機会になり得るかもしれません。（短期目的の場合には注意）アクティビストと企業との対話が積極的に行われている昨今、アクティビストの提案を真摯に受け止め、自社の経営に役立てていこうとする企業も増えており、企業の経営の質が高まれば、日本全体の企業価値底上げに繋がっていくでしょう。また、5%ルールがあるため、該当銘柄の大量保有報告書をEDINETで調べることが出来ます。まずは、EDINETのHPに進み、「書類全文検索」をクリックします。文字列にファンド名を入力し、種類で「書類種別を選択する」をクリックし、有価証券報告書にチェックを入れると表示することが出来ます。時間を味方につけて、投資先を自由に決められる個人投資家にとって、アクティビストの動きを追いかけてみるのも一つの手段としていいかもしれませんね。



投資家と企業の架け橋 インベストメントブリッジ

社長室長 曾根原氏に聞く

学生におすすめの投資方法とは？

interviewer 一橋大学 北村草太

株式会社インベストメントブリッジ
社長室長
曾根原 大介さん

上智大学外国語学部卒。大学在学中は米 サンディエゴ州立大学にてFinanceおよびEntrepreneurshipを専攻。株式会社インベストメントブリッジでインターンを開始し、アナリストレポートの校正などを担当。2019年にインベストメントブリッジへ新卒入社し、上場企業のIRコンサルティング、長期インターン生の採用・育成、Webメディア『いろはに投資』の立ち上げ・運営に従事。目標は「日本人全員が正しい金融リテラシーを身につけ、お金の不安を抱かずに夢を追えるようになる」。プライベートでは筋トレと愛犬をこよなく愛す。

WHAT KIND OF COMPANY?

株式会社インベストメントブリッジ

2000年に現代表取締役の保阪 薫、廣島 武の2名により創業。上場企業のIR活動を支援するIRコンサルティング事業や、お金の投資のWebメディア『いろはに投資』を運営。「投資家と企業と共にあらゆる社会課題を解決し、明るく豊かな未来を創造する」をパーパスに掲げ、IRコンサルティング事業では100社超の企業に対して並走支援を提供し、Webサイト『ブリッジサロン』にてアナリストレポートなどを無料で個人投資家へ提供。『いろはに投資』では日本の投資家の量・質を向上するため記事やSNS等で情報発信し、月間100万人超が訪れる。投資初心者向けの分かりやすい記事作りから、上級者に対して個別企業のアナリストレポート作成まで幅広い情報を提供している。

ブリッジサロン



いろはに投資



まずは少額から始めるのが良いと思います。例えば商品を買ったり貯金をしたりといった行動は小さい頃から当たり前にありますよね。でも何かにお金を預けて、価値がガラッと変わるような経験をすることは、ないはず。なので投資自体に慣れるためにも、まずは無理のない金額から「投資を経験する」というのが大事だと思います。投資商品としては、ETFがおすすです。一つのETFを買うと色々な会社の株が入っています。例えばアメリカのS&P500という指数に連動するETFを買ったなら、S&P500に含まれる500社全部の株を持っているようなイメージです。ETF自体も数百ドル程度で買えるものが多く、2万円程あれば数百社の株を一気に保有できるので。ただETFも株式と同様に上場しているため、取引時間中は常に価格変動します。100ドルで買ったETFが、数時間後には110ドルに上がったたり、90ドルに下がったりする可能性もあるということ。株と同じような価格変動を少額から体験できる点から、数万円の資金を用意してETFを買うのが学生に最適かなと。ETFと似た商品で投資信託があります。こちらは値動きが1日1回と少ないんです。なので、「投資を経験する」という観点だと少し臨場感に欠ける気はしますが、とは言え、「つみたてNISA」は基本的に投資信託になるので、まずは積立投資を

学生がはじめて投資する場合、
どうやって始めたらいいでしょうか。

複眼
経済複眼経済塾
学生科 始動!

経済を知らずして、
社会を理解したことにはならない。

しかし、経済は日々刻々と動く。
教科書だけで、
その本質を学ぶことはできない。

活きた経済を学ぶためには、
どうすればいいか？

複眼経済塾に、その答えがある。

四季報と日経を武器にブレない自分を手に入れる

現役在籍塾生数1,000人。マジメに学びを求める質の高い個人投資家ネットワークは国内随一。

複眼経済塾・学生科で学べる事

- 四季報、日経新聞、指標ノートを使って、活きたマイクロ・マクロ経済を日々学べる。
- 就活に直結する、企業分析手法や日経分析手法を学べる各ワークショップを、超格安の学生割引価格で受講できる。
- 学生専用のクローズドSNSスペースを準備。学生科の塾生同士の情報交換ができる。
- 学生科専用イベントに参加できる。
- 一部、複眼経済塾・本科クラスの講義を学生科でも無償受講できる。

【各大学などでの講義実績】 京都大学、筑波大学、早稲田大学、法政大学、清泉女子大学、琉球大学、USIC（学生投資連合）

講師陣



四季報読破25年の達人 塾長 渡部 清二
国際エコノミスト 塾頭 エミンユルマズ
元BloombergTVメインキャスター SDGs・ESGの先駆的立役者
メディア局長 小笹 俊一
事務局長 瀧澤 信

塾生の皆様の声

22歳 女性 埼玉在住

最初は、就活に投資の話？と訝っていましたが、投資に必要なノウハウと、就活に必要なノウハウは実は一緒、という事に納得。確かに、投資も「良い企業」を見つける事ができればいけないし、就活も「良い企業」を見つけなければいけない。一番、胸に落ちたのはサプライチェーンの話。今までは名前を知っている企業に就職したいと思っていたが、実は上場企業だけでも3800社もあり、普段接していないBtoBの企業の方が、数も圧倒的に多いし、そこに本当にいい企業があるのかもしれないと思った。学んだ事を活かして、四季報・日経を駆使して本当にいくべき企業を見つけたい。

23歳 男性 東京在住

経済を学ぶには投資を学ぶべき、と考えていた時に複眼経済塾を見つけました。他の投資塾とも見比べましたが、圧倒的に本質を突いているのが複眼経済塾だろうと直感し、一般コースの本科に入塾しました。私は学生起業をしていますが、複眼での学びは経営そのものにも活かしています。特に四季報と日経から得られる情報は、投資銘柄の選定だけでなく、次の世の中の方角性を予測し行動していく上で不可欠なものです。私の時代には学生科は無かったのですが、今回複眼経済塾で学生科ができ、月2000円でこれらの事が学べるようになるのは画期的で、とても嬉しいです。私も負けないよう、今後も継続して学んでいきたいと思っています。

学生科 入塾方法・価格

- 当塾ウェブサイトより随時入塾受付！
- 初月月謝は日割り計算です
- 学生認証のため、学校発行のメールアドレス(.ac.jp, .edu.jpなど)が必要です
学校発行のメールアドレスをお持ちでない場合でも、有効な学生証をご登録いただければ入塾可能です。

月額 2,000円 (税込) クレジットカード支払い

※銀行振込をご希望の方は事務局にご相談ください。
※クーリングオフ制度により申し込み8日間以内であれば
申し込みの取り消しが可能です。



したいという人は投資信託でも良いとは思いますが。

投資の勉強をする時にネットで検索することが多いのですが、様々なメディアがネット上に溢れていて、どれを参考にすれば良いか分かりません。

実際に投資系メディアは、ここ2年ほどで急激に増えてきました。まずはなぜ増えているのかを理解するのが大切です。例えば、「証券会社 おすすめ」などで調べて、おすすめの1位がSBI証券となっていれば、「ここから口座開設」というボタンを押すはず。

そうすると、広告のお金が運営メディアに入ります。いろはに投資も当てはまるのですが、Webメディアが無料で見られるということは、どこかでマネタイズをしています。勘違いしてほしくないのは、無料メディアに広告があるのが悪いわけではなく、ビジネスモデルがそうになっているということです。その中でも投資系メディアが増加した要因としては、コロナ禍で株式市場が盛り上がったため、投資について調べる人が増えたことです。そこでメディアを作り、検索して来たら自分のメディアで広告を取りたいなど、そういったメディア側の需要というか、ビジネスチャンスが影響していますね。

その中でも信頼性をどう判断するかというと、基準としては「運営元が開示されているかどうか」を見るのが大事です。メディアの仕組みには、大きく2つあります。一つは自社で運営しているメディア。



ですが、日本株だと100株単位になっちゃいますよね…

そうですね。基本的に日本株は100株からしか買えないんですよ。例えばA社の株価が1500円だとしたら、株を購入するには最低でも15万円必要になります。ですが単元未満株(ミニ株)という制度もあり、これなら1株から買えます。A社の例であれば1500円から購入できるのです。

弊社は「ブリッジサロン」という個別企業のIR情報を提供しているウェブサービスがあります。弊社では商標も取っている「応援投資」の概念がありまして、サービスマンや事業、パースなど応援したいと思える会社を見つけ、そこへ投資することです。

弊社であれば、インベストメントブリッジという会社がいろはに投資やブリッジサロンを運営しています。もう一つは、自社ではなく別の会社が運営しているメディアです。例えば「NISA おすすめ」で調べると、〇〇新聞など全く関係がないドメイン(URL)のサイトが「NISAのおすすめ証券」といった記事を書いていて上位に出ることがあります。これはいわゆるドメイン貸しと業界では呼ばれていて〇〇新聞が運営しているわけではなく、他のWebメディアの会社が運営しています。そういったサイトでは運営元の記載が無かったり、問合せができないケースもあります。一番良いのは運営母体とメディアの運営者が一致しているもので、自分たちですべての運営を行っているため問合せなども可能です。手間はかかりますが、投資系キーワードでいくつ調べれば似たようなサイトがたくさん出てくるはず。その中からいくつか見て、運営元が一致していれば信頼できるかと思えます。

また、内容という文脈では情報が共通しているかどうかも大切です。いくつかサイトを見て内容が一致していれば、それは正確な情報であるかと思えます。さらに記事の中でしっかりと引用元が書いてあるかどうかも大事です。やはり自分の意見、主観みたいなのは信頼できませんよ。なので出典や調査も自社でアンケート調査した結果などを公開していれば、十分信頼して良いかと思えます。弊社のサイトだと、いろはに投資ももちろん広告モデルではあるものの、運営は私たちが行っています。それこそEITF記事なら、アメリカの「ブラックロック」など運用会社の英語サイトなど

実際に投資をすると株主になれるわけではなく自分も会社の一部となります。つまり会社が社会的により行動をしており、提供するサービスもよいと感じたら投資して、その会社を応援すると。そして会社が成長すれば株価も上がっていくはずなので、自分も株式のリターンを得られる形ですね。例えなら最近流行っている「推し活」に近い感覚で、自分の好きなアイドルのグッズを買ったりオンライン上で投げ銭したりと推し活は精神的なリターンが大きいですが、投資の場合はさらに金銭的なリターンも受けられて一石二鳥だと思います。

投資について勉強する時は、何から始めれば良いでしょうか？

お二人もそうだと思いますが、Webで調べるのは今の時代ありだと思います。それ以外だと、お二人も所属しているUSICさんではサークルでの勉強活動もやっているようですね。同じ興味関心を持った仲間と勉強できるのはモチベーションにつながると思いますし、投資をしている先輩の話を聞くのも良いですね。

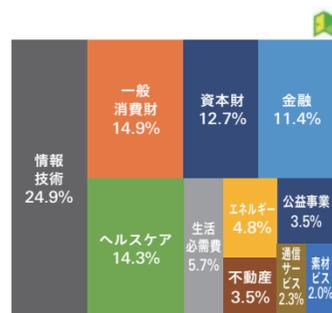
また、実務を通して投資の知識を身に付けるのは私個人の経験としても良かったです。私は大学3年生から弊社で長期インターンをしたのですが、仕事を通じて金融や投資の知識が身に着いたり、様々な人と出会うことができたのは良い経験でした。長期インターンでは給料も出るもので、その自分でもしっかりと勉強して、業務で良いアウトプットを出せるのが楽しいですよ。

も確認して日本語に訳しながら執筆しているので、是非見て頂きたいです。

個別株投資をする際、特に重要視すべきことはなんですか？

重要な点として、まず2つ軸があります。一つ目はファンダメンタルズという、会社の業績や事業を見てどのような会社なのか知ることです。二つ目はテクニカルというチャートの形を見ることですね。どっちか一つというのはなくて、どちらも意識すべきだと思えます。例えばテクニカルに偏ってしまえば、チャートの値動きだけを見て「この流れが来たから上がるな、下がるな」と判断しがちです。しかしそれは投資ではなく投機、ギャンブルのようなものになってしまいます。そのため、あまり投資としては良くないですね。なので良い方法としては、いくつか興味のある会社のチャートを確認した上で公式サイトなどから会社の情報をチェックすることです。業績は好調そうでも、

図1 VTIのセクター比較



(出典)いろはに投資

最後に、学生へのメッセージをお願いします。

まず、お二人のようにUSICに加盟しているサークルが大学にあり、そこで投資やお金を学べるのはすくなく羨ましい環境だかと思えます。そもそも大学生は、残りの人生が長いじゃないですか。これから80歳まで生きていけると考えた場合、少額で投資を始めても60年以上投資できま

すし、これは大きなアドバンテージです。投資は経済や政治と深く結びついているので、社会人として知っておくべき知識や考察力も、投資を通して大学生のうちから鍛えられるのが良い点だと思います。実際のところ、これらのスキルが身に付いている社会人って意外と少ないんですよ。だからこそ就活やその後の社会人生活でも、投資で身につけた思考力は確実に役立ちます。学生の方に一番知って頂きたいのは、投資は変なものでも危険なものでもなく、しつ

図2 同社のインターン募集ページ



(出典)キャリアバイト

チャートを見ると株価が下がっている場合もありますよね。それは単に投資家が売り過ぎていただけかもしれないので、「それならもう少し待てば値上がりしそうだな」と思って購入するのもよいでしょう。逆にチャートを確認したところ、まったく動きが見られないものもあります。その場合は時価総額が小さすぎたり目立ったニュースがなかったりして、投資家に知られていない可能性が考えられます。そんな会社を見つけても、自分が知っているサービスを運営している会社であれば一番自分が理解できると思うんですよね。「このサービスは、最近流行っているんだよね」と身近に感じているならば、もしかしたら近々メディアにも取り上げられて、注目を集めるかもしれません。お二人は普段どんなお店を使いますか？

私は3COINSによく行きます。

300円が中心の雑貨を売っているお店ですよ。でもサービスは分かってもらえないじゃないですか。なので運営会社を調べると、「この会社が行ったんだ」と発見が生まれるかもしれません。例えば吉野家って、実ははなまるうどんと同じ運営会社なんです。なので、よく使うお店から運営会社を確認して、その会社が様々なお店をやっているだけでも好調そうな場合、「たぶん業績も良くなって上がるかな」とみたいな感じで最初は選ぶのもよいですね。

かりと勉強すれば自分に良い影響を与えてくれるということです。

一方で、「自分が稼いだお金を全額投資に回す」みたいなストイックな考え方はしてほしくないかと思えます。大学生は時間もあり、サークルやバイト、海外旅行など様々な経験を積める期間です。なのでバイトで月8万円を稼いだら、1万円は投資に回しても、残りの7万円は遊びや資格勉強、旅行などに使ったほうが絶対にリターンは高いかと思えます。旅行すれば様々な体験ができるので、人間としての深みが増しますし、留学すれば異国文化を知ることができます。10代や20代の最大の資本はお金ではなく、自分の能力なんです。能力が高ければ高収入の会社に入れたり、起業するなど人生の選択肢を増やせます。

これは私個人の価値観になってしましますが、20代で金融投資ばかりするよりも、自分という価値を高めて社会に価値提供の方が最終的には金融資産も増えるかと思っています。20代はしっかりと自己投資し、金銭的に余裕が出てきたらガッツリ金融投資すればOKです。30代から投資しても人生はまだ50年近くありますから。学生の皆さんは投資の知識を身につけるのはもちろんのこと、自分の可能性を信じてどんどん自己投資し、日本がより明るく豊かな国になるよう、活躍して頂きたいと思えます。当社では長期インターンも20名近く所属しているの、興味を持たれた方は是非お気軽にお問合わせください。

INTERVIEW

世界有数の
資産運用会社に学ぶ

投資“の真価

Writer 慶應義塾大学 秦 利佳

近年世間を騒がしている『老後2000万問題』のように、いかに老後の資産形成をしていくかという問題は日に日に重要性を増しています。老後の資金不足問題を解決するために、若年時から金融リテラシーを身につけることが期待されるにもかかわらず、現状では多くの人がそれを他人任せと捉えているように思われます。実際に、日本証券業協会の調査によると、20代で投資を行っている人の割合は1割程度です。この調査結果は、若年層が投資の真価について理解できていない結果だと考えられます。

バーンスタイン（以下AB）、AB未来総研所長、マネジング・ディレクターの後藤順一郎氏、運用戦略部・責任投資推進室のシニア・インベストメント・ストラテジストの徳谷栄一郎氏に投資との向き合い方に関するお話をうかがいました。

渡辺…そもそも、我々は何のために投資をおこなうのでしょうか？

後藤さん…何故投資をするのかという一義的には老後資金のためです。公的年金だけでは豊かな老後生活を支えられないという話はよく耳にしますよね。それに上乗せできる収入源としては企業年金があるものの、これが近年大きく変化しています。皆さんの親や祖父母世代では確定給付企業年金といって、長期にわたり一定の給付金額が保証された企業年金を受け取れる人も多くいました。しかし現在は、毎月拠出し



たお金を自分の裁量で運用し、それを老後に取り崩す確定拠出年金という制度を採用する企業が多くなってきています。このような流れの中で、学生は社会人になったらいきなり運用をしなければいけないという大変な時代になっています。この背景から私は、少しでも金融のことについて知ってもらってから社会人になってもらえるように、大学で資産運用に関する講座を11年間講じています。

投資とは将来のために行うものです。生涯賃金は平均的には下がっている一方、長寿化によって老後必要資金は増加傾向にあります。このバランスを正す一つの方法が投資であり、お金にも働いてもらうというわけです。

人生の3大資金という言葉聞いたことはありますか？老後資金、教育資金、住宅購入資金の3つを指すのですが、このようにまとまったお金が人生の中では必要に

なっています。これをどうやって乗り越えていくのかというのが人生のテーマです。昔はお給料でどうにか生きていましたが、今はこれらのイベントを乗り越えるために自分で考えなければいけない時代です。投資はなんとなく儲けるために必要だという印象を受けがちですが、そうではなく、人生を守るために必要なのです。

徳谷さん…投資、英語ではインベストメントといいますが、ラテン語を語源としてお

り、一説によると、中にとり意味の「イン」と着る「ベスト」が合わさり、身を守るという意味合いを含んでいます。一方で、日本語では「投資」と投げる資産と書くんですよね。

秦…投げ銭ということですね。(笑)

徳谷さん…語源からすると、投資というのは身を守る行為ということが分かります。藤尾…僕たちが投資すると考えたら旅行などを目的に資産を増やすことを考えていますが、今の話をうかがうと自分の未来に対して防衛、資産形成するという意味合いで投資を考えた方がいいのではないかと思うようになりました。

資産配分が年齢に応じて変化する、アメリカではこのやり方を探り入れたファンドが、確定拠出年金でのデフォルト選択肢として政府のお墨付きにもなっています。

徳谷さん…ターゲット・イヤー・ファンドなどと呼ばれるんですが、弊社でも「2040」や「2050」といった退職予定年が名称についていたファンドがあります。ターゲットの年に応じてポートフォリオの配分を、リスクの高いものから低いものにして最後はキャッシュアウトするという、自動的にリスクを減らしていくようなファンドです。

渡辺…それでは具体的に、何に投資をしていけばよいのでしょうか？

徳谷さん…そもそもの話ですが、どの金融資産を選ぶにしても、経済的価値が将来にわたり増加していくものに投資をしないと、資産は膨らんでいきません。株式で考えると、企業価値は将来キャッシュフローの増加が見込めないと、本質的な価値の増加に繋がりません。企業価値は簡略的にいうと「将来のキャッシュフロー」÷「割引率」です（図表参照）。将来キャッシュフローは収益性や成長性によって決まります。収益性が高く、その収益を将来の投資に回して持続的な成長を遂げられる企業かどうかを見極めること。また、資金調達のコストや事業リスクを抑え、割引率が低いこと。本来はこのような点に注目するのが大切なのですが、投資を始めるとチャートばかりを見てしまう人が多くいます。私たちは市場ではなく企業に投資しているので、市場だけを見るのではなく、株主として企業価値を創しているという意識を持つことが必要な

のではないかと思っています。

事業家が理想の社会を目指して企業にその意思が反映される。そして、社会が必要とする財やサービスが提供されて、消費者がその恩恵を受ける。また、取引先も儲かり、国全体としても税収が増える、最終的に資本家にリターンが還元され、そしてまたそのお金が投資に回り次なる企業の成長を後押しする。こうして全てのステークホルダーが恩恵を受けるインベストメントチェーンが形成されることが社会にとって重要です。最初に何のために投資をおこなうのか、と渡辺さんより質問がありました。投資とはよりよい社会を築くことにつながります。

市場は経済の鏡です。市場と睨めっこして儲かった、損したなどとマネーゲームをして一喜一憂するのではなく、自分が未来を託したいとする企業に倫理を持って将来の経済的、環境的、社会的価値を見出せば、投資というより株主としてぜひその企業に関わってみたいと思います。

最後に投資先企業やファンド選定では過去のパフォーマンスに囚われてばかりいてもいけません。企業や運用（戦略の有用性）にも栄枯盛衰がありますし、実際に過去のパフォーマンスの再現性は10%程度しかないともいわれています。過去の業績やパフォーマンスのみを見て投資することは、バックミラーを見て運転するようなものなのです。よって将来の収益性や成長性、そしてそれが長期的な目線で持続可能なのかといったポイントが本質になってきます。そしてこの本質を見る力を学生のうちから鍛えることこそが重要と考えます。



秦…それでは具体的に、どのように投資を行っていくべきなのでしょう？

後藤さん…自分を守るための投資という観点においては、個別企業への投資に着目するより、資産クラスを幅広くみて、アロケーション（株式、債券、現金などの資産クラスへの資金の配分）することも重要です。運用リターンの90%ほどはアセットアロケーションで決まるともいわれています。この考え方を念頭に、更に重要なことが、ライフサイクル投資の考え方です。これは年齢に応じて投資とどう向き合っていくべきなのかというものです。年金基金や金融機関と違い、人の場合には歳を取ります。人が歳をとるとリスク許容度が変わり、年齢に応じて資産配分を変える必要が出てくるのです。最もシンプルな事例では、若い頃にはリスクを取って、歳とともに、特に老後に向けて段々とリスクを下げていくということが必要になります。

資産配分が年齢に応じて変化する、アメリカではこのやり方を探り入れたファンドが、確定拠出年金でのデフォルト選択肢として政府のお墨付きにもなっています。

徳谷さん…ターゲット・イヤー・ファンドなどと呼ばれるんですが、弊社でも「2040」や「2050」といった退職予定年が名称についていたファンドがあります。ターゲットの年に応じてポートフォリオの配分を、リスクの高いものから低いものにして最後はキャッシュアウトするという、自動的にリスクを減らしていくようなファンドです。

渡辺…それでは具体的に、何に投資をしていけばよいのでしょうか？

徳谷さん…そもそもの話ですが、どの金融資産を選ぶにしても、経済的価値が将来にわたり増加していくものに投資をしないと、資産は膨らんでいきません。株式で考えると、企業価値は将来キャッシュフローの増加が見込めないと、本質的な価値の増加に繋がりません。企業価値は簡略的にいうと「将来のキャッシュフロー」÷「割引率」です（図表参照）。将来キャッシュフローは収益性や成長性によって決まります。収益性が高く、その収益を将来の投資に回して持続的な成長を遂げられる企業かどうかを見極めること。また、資金調達のコストや事業リスクを抑え、割引率が低いこと。本来はこのような点に注目するのが大切なのですが、投資を始めるとチャートばかりを見てしまう人が多くいます。私たちは市場ではなく企業に投資しているので、市場だけを見るのではなく、株主として企業価値を創しているという意識を持つことが必要な

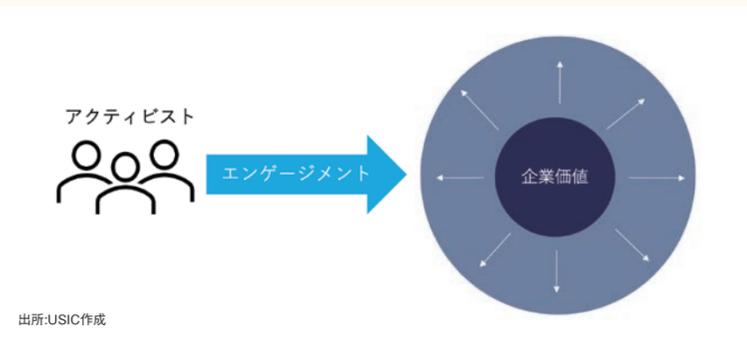
のではないかと思っています。

事業家が理想の社会を目指して企業にその意思が反映される。そして、社会が必要とする財やサービスが提供されて、消費者がその恩恵を受ける。また、取引先も儲かり、国全体としても税収が増える、最終的に資本家にリターンが還元され、そしてまたそのお金が投資に回り次なる企業の成長を後押しする。こうして全てのステークホルダーが恩恵を受けるインベストメントチェーンが形成されることが社会にとって重要です。最初に何のために投資をおこなうのか、と渡辺さんより質問がありました。投資とはよりよい社会を築くことにつながります。

市場は経済の鏡です。市場と睨めっこして儲かった、損したなどとマネーゲームをして一喜一憂するのではなく、自分が未来を託したいとする企業に倫理を持って将来の経済的、環境的、社会的価値を見出せば、投資というより株主としてぜひその企業に関わってみたいと思います。

最後に投資先企業やファンド選定では過去のパフォーマンスに囚われてばかりいてもいけません。企業や運用（戦略の有用性）にも栄枯盛衰がありますし、実際に過去のパフォーマンスの再現性は10%程度しかないともいわれています。過去の業績やパフォーマンスのみを見て投資することは、バックミラーを見て運転するようなものなのです。よって将来の収益性や成長性、そしてそれが長期的な目線で持続可能なのかといったポイントが本質になってきます。そしてこの本質を見る力を学生のうちから鍛えることこそが重要と考えます。

図2 アクティビストの介入による企業価値向上イメージ図



出所:USIC作成

木内さん 恐らく岸田総理がおっしゃっているのは短期志向の経営ではなく、長期的な視点に立った経営をしようということであり、それについては理解できなくもない一方で、世界的な潮流に逆らう動きには賛成できないです。四半期決算を出さないことであったり、再分配政策を強化したりすることは、今のポーターレス社会には見合っていないのだと思います。それを実行すると国外に資金が流出してしまいます



金融のプロが学生の疑問に答える

木内孝胤氏 単独インタビュー

Writer 一橋大学 橋本 航

1989年に三菱銀行に入行し、その後はドイツ証券、UBS証券と外資系金融機関を渡り歩き、メリルリンチ(現:バンク・オブ・アメリカ)日本証券の投資銀行部門のマネージングディレクターを務めたのちに、2009年の衆議院議員総選挙で政界入りを果たした木内孝胤氏。その華々しいバックグラウンドを持つ金融のプロフェッショナルである木内氏にUSICの迫、渡辺、橋本が取材を試みた。投資とは切っても切れない関係であるマクロ経済政策や金融リテラシーについての学生の疑問に、金融のプロが答えてくれた。

橋本 まずはじめに、議員時代のお話についてお伺いしたいです。木内さんは個人投資家を応援する政策を掲げている印象が強くありますが、それはどのような意図によるものでしょうか？

木内さん 結論からお話すると、個人投資家を応援するという政策が具体的に分かりやすいからです。元々私は、安倍政権の金融政策を好意的に見ていました。日銀の総裁に黒田氏を選任し、3本の矢に代表されるように財政と金融の両面での政策を実行していたからです。デフレリセッションを脱却する前に増税に踏み切ったこと、想像以上に規制改革ができていなかったことに関しては不満はありますが、おおむねの方向性としては評価できると思います。

橋本 そうでしたか。確かに、安倍政権の財政・金融財政への批判としては、消費増税のタイミングに関するものが多い気がします。現状の岸田政権についてはどう思

から。そのため、現政権がやっていることはズレているというのが、現在掲げている公益資本主義に対する認識です。

橋本 健全な資本主義運営についても整備する必要があります。近代的なコーポレートガバナンスとして社外取締役を置いたり、報酬委員会を設置したりすることが挙げられますが、これらを形式的にだけ行ったとしても全く意味がありません。会社のことを理解していない人間が社外からきたところで、何の役割も果たさないのは想像がつくでしょう。社外と言いつつ、社外のお友達を呼んでいるケースも多々あります。結局のところ、その会社の経営に詳しくない人間を社外から呼んだとしたら雰囲気は良いように見えますが、表面的な話で終わってしまうことが実情なのです。ガバナンス改革強化は形式論に走りすぎてむしろマイナス方向の影響を与えていたというのが私の持つ問題意識です。

渡辺 形だけを意識しているという取り組みは意味がありませんね。それに割いているリソースが無駄になって、プラスよりもマイナスの影響を与え得るというのも頷けます。そのような形式だけの改革ではなく、アクティビストファンドが介入するような経営改革についてはどう思われますか？

木内さん コーポレートガバナンスが最も効いていると思うのがアクティビストファンドです。日本ではハゲタカに代表されるような悪いイメージがありますが、投資先企業の経営改革を行うような提言、いわゆるエンゲージメントの重要性は高いです。アップルやマイクロソフト、アドビのよう

れますか？

木内さん それに対して、岸田総理の政策に関しては新しい資本主義という言い方はしていたものの、納得できないものが多いように感じます。

アンチ・マーケット、つまり株式市場を敵対視するかのような政策を押し進めているように思えます。第一には、金融所得課税についてです。現状で20%の金融所得課税を課しているにもかかわらず、これをさらに引き上げようという姿勢は、シンガポールや香港といったアジア圏の国とも競争していかないと考えない中では相応しくないと考えます。また、岸田総理は株式を持つていないと公言していますが、それ自体は問題ないと思います。ただ、それを堂々と胸を張って発言する雰囲気は理解し難いものでした。これらを踏まえてアンチマーケットのイメージが強くなります。それに加えて、岸田総理は何かと財務省寄りの政策を打ち出している印象もあります。財務省寄りになると言われても仕方ない財務官僚一族出身の総理ですが、日本経済を30年間ゼロ成長にしてきた諸悪の根源を財務省寄りの経済政策であると思う私は、今の岸田政権に対して危機感を持っています。

な大きな会社でもアクティビストファンドが介入することで企業価値が向上してきた背景があります。単に外の人を持って来れば良いというのは幻想であって、内部であるのが外部であろうが、適切に会社のことを理解して経営改革の一助となる人材が必要だと思っています。

橋本 1兆ドル企業においてもアクティビストファンドが企業価値向上に寄与しているのは有名な話ですよね。

迫 最後に、学生のうちに学ぶべきだと思うことやアドバイスをお聞きしたいです。
木内さん 金融リテラシーを学ぶことは非常に重要だと思います。金融知識は思っている以上に難しくないので、早いうちから地に足をつけて学び、それを実践することは大きな価値があると思います。また、トップレベルの学生は、狭い世界にとどまらないうちに広く教養を身につけることも必要だと感じます。自戒を込めての発言ではありますが、学ぶ姿勢というものは非常に重要です。意外に思うかもしれませんが、世の中でしっかりと勉強をしている人というのは大変少ないものです。だからこそ、確かな知識を身につけることには十分な価値があります。学生の皆さんには是非とも広い世界を見て、多くを学んでほしいですね。

2008年に投資銀行を辞職後、2度の衆議院議員の経験を経て現在に至る木内氏。これまでは政治活動とビジネスの両輪で社会貢献に尽力されてきたが、今後はビジネスにフォーカスしていきたいと話す。また、

図1 日本維新の会 参議院比例区第50支部 ホームページより引用

迫 そうお考えなんですね。僕も岸田政権の動きで疑問を持つところがあり、特に近年掲げている公益資本主義以前に、日本はまず健全な資本主義運営を整備する必要があります。そのためには、それについてはどう思われますか？

日本のコーポレートガバナンスに問題意識を持っているため、ゆくゆくは健全なアクティビストになりたいとも言います。取材では「学ぶ」ことの重要性について強調していたが、我々学生も時間を無駄にせず、学びの歩を止めないでいきたい。



USIC幹部と木内孝胤氏



一緒に金融業界を盛り上げていきましょう!

私が「金融に入ろう」と思ったのは、30歳になる前に人生の転機があったことがきっかけです。手にした資格取得の冊子に「ファイナンシャルプランナー」とカタカナで書いてあり、「よし!これだ!」となぜか思いました。気負って金融の道を進み続けると決心して目指した訳ではなく、「よし!このカタカナが良いに違いない!」というような軽い気持ちでした。

本日は皆さんの「今」をお聞きし、私たちも大変勉強になりました。皆さんの色々な意見も今後当社の商品に活かしていきます。



執行役員
青木 雅代

いきなりと考えています。これを機に、皆さんにもっと金融に興味を持ってもらいたいです。ぜひ金融業界を盛り上げるご協力をいただければと思います。これから投資、金融の勉強を始めようと考えている方が皆さんと同じように興味を持っていただけるよう、私たち魅力的な情報発信をしていきたいと思

新入生へのメッセージ

投資に興味がある人に限らず、今後のライフプランに不安を抱えている人こそ早いうちから勉強を始めて欲しいです。投資をしている女子はカッコいい! 将来、仕事をするにしても、家庭に入るにしても絶対に金融知識は役立つと思うので一緒に勉強しましょう!(清水さん)



「投資をする女子はカッコいい」と思うので、ぜひサークルに入って欲しいです。将来はどのような分からないご時世なので、自分で資産形成すること大切だと考えます。(秦さん)



私は金融や投資の知識はほぼ無い状態で入会しましたが、先輩方が教えてくれましたし、1人で学ぶよりもサークルに入って学んだ方が効率的です!(齋藤さん)



「投資サークル」と聞く意識が高い人たちが感じるかもしれませんが、実は初めて金融や投資を学ぶ人達も多いです。詳しい先輩に話を聞くだけでも貴重な経験になりますし、コミュニティが作れます!(鈴木さん)



三井住友トラスト・アセットマネジメント (スミタム)に行ってきました!!



鈴木凜々花さん
上智大学 経済学部 1年
23年1月から 投資開始予定



齋藤美帆さん
津田塾大学 学芸学部 1年
金融・投資 勉強中



秦利佳さん
慶應義塾大学 法学部 1年
投資経験 約3ヵ月



清水優葵さん
USIC 13期幹部
明治大学 法学部 2年
投資経験 約2年



サークル入会と今後のライフプランとの関係

現実的な問題にまで目を向けるようになった

USICや投資サークルの活動を通して勉強する中で、社会人になってお給料が入ったときにどうやってお金を振り分けするか等、現実的な問題にまで目を向けられるようになりました。大人になってから勉強しても、もちろん遅くはないですが、サークルで得た知識は今後に繋がっていくのではないかと考えています。(清水さん)

人生楽しく、就職・投資も長期目線

「投資で得られる利益」は、短期目線の話ではなく、生活の防衛的な側面もあると思う中で、福利厚生がしっかりしている会社に就職し、自分のしたい生活を送れる水準まで投資も活用して資産を増やす方が理想的なのではないかと考えるようになりました。(秦さん)

自分の理想の生活の足しに

まだ、将来どんな自分になりたいかは決めていませんが、投資で「将来世界中を巡りたい」という理想の生活の足しにしたいです。(齋藤さん)

ライフプランまで考えて入会した訳ではない

ライフプランが明確にあるわけではないですが、これからの人生に投資はすごく役立つだろうと思っています。(鈴木さん)



投資サークルに入会した理由

清水 高3の受験が終わった頃、ちょうど新型コロナウイルスの感染拡大によって世界経済が打撃を受けた時期でしたが、もともと投資をしていた家族から「長期的に見れば、相場が下がったときは資産が安く買え、相場が回復するとプラスのリターンになる」との話を聞き、投資に興味を持ちました。「自分で働いて稼ぐだけでなく、投資でも資産を増やせるのは魅力的」と考え、当時、投資について全然知識がありませんでしたが、勉強できるサークルがあるなら入ってみようと思入会しました。

秦 私はお金が好きという理由からです。家族の部屋に世界の色々な通貨があり、小さい時からそれを見ていて魅了されてきました。成長してからは、一人で海外旅行に行きたい、という夢がありまして、投資で得た利益を使って旅行に行くという目的で投資をしています。

齋藤 私は英文学科で、授業で金融関係を学べる機会が少ないのですが、将来金融の知識は必ず役に立つと思、投資サークルに入りました。後は皆さんと同じくお金が好き、というのと、秦さん同様、将来世界中を巡りたいためです(笑)。

鈴木 投資や株式等について知ることが面白そうだなというからか思っており、大学に入った時、自分だけで勉強するより、サークルに入って色んな人と勉強したり話しながら学ぶ方が、様々なことが知ることができると思いました。

YouTube 公式チャンネルのご紹介

マーケット情報から資産形成に役立つ内容まで動画でわかりやすくお届け中!

YouTube スミタム



チャンネル登録
お願いします!

金融リテラシー
イメージキャラクター
「楽くん」



- POINT 1 サークルで仲間と学んだ方が楽しい! 勉強が継続できる!
- POINT 2 USICを通して社会人との接点ができ、様々な企業の勉強会に参加できる!
- POINT 3 投資を学ぶ女子、将来をしっかりと考える女子はカッコいい!

本日の
まとめ



金融リテラシー推進室
二ノ恵理子

USIC・スミタム
一同、皆さんとお会い
できるのを楽しみに
しています!!



※上記は2022年12月末現在の情報です



学生対抗のバーチャルトレード

仮想資金300万円を元手として、特定期間内に名証上場銘柄を対象にバーチャルな売買を行い、最終的に300万円の元手をいくら増やしたかを競います。当コンテストに参加して、就活に役立てよう!

名古屋証券取引所が毎年お届けする 名証株式投資コンテスト (14th)

参加は学生のみ ■ 学生対抗個人戦 ■ 学生対抗チーム戦 ■ 中学生から参加可能

2023年度下期開催予定

- 参加要件** インターネットに接続でき、メールアドレスを所有されている学生
- チーム戦** 学生の方で1チームは3名から10名まで
- 個人戦** 要件なし ※個人戦とチーム戦の重複エントリー不可
対象銘柄:名証全上場株式とETF277銘柄(2023年1月17日現在)
売買方法:開催期間中に毎日売買可能
- 成績発表** ホームページ上にて発表予定
(上位入賞者を対象に表彰式を開催予定)

優勝賞品(ギフト券) (2位~10位にも賞品あり)

チーム戦 **5万円分** 個人戦 **3万円分**

参加無料

昨年の結果

チーム戦は全国41校から116チームが参加

収益率 **+76.16%**

一橋大学 ATM投資顧問チームが優勝

個人戦は全国80校から1,010人が参加

収益額 **+2,132,100円**

兵庫県立大学 三重ローマさんが優勝



参加方法

名証株式投資コンテスト 検索

www.nagoya-stock-exchange.com

昨年の参加大学等(94校)

愛知学院大学、愛知教育大学、愛知県立大学、愛知淑徳大学、愛知大学、愛知文教大学、青山学院大学、育英大学、追手門学院大学、大阪大学、小樽商科大学、金沢大学、関西学院大学、北里大学、岐阜大学、岐阜医療科学大学、岐阜聖徳学園大学、京都産業大学、近畿大学大学院、金城学院大学、慶應義塾大学、高知大学、神戸大学、滋賀大学、順天堂大学、福山大学、同朋大学、星城大学、専修大学、創価大学、大同大学、中央大学、中京大学、中部大学、東海大学、東京大学、東京大学大学院、東京医科歯科大学、東京農業大学大学院、同志社大学、同朋大学、東北大学、鳥取大学、名古屋大学、名古屋大学大学院、名古屋外国語大学、名古屋学院大学、名古屋芸術大学、名古屋経済大学、名古屋経済大学大学院、名古屋産業大学、名古屋商科大学、名古屋市立大学、名古屋文化短期大学、南山大学、新潟県立大学、日本福祉大学、一橋大学、一橋大学大学院、兵庫県立大学、福井県立大学、佛教大学、法政大学、放送大学、北海道科学大学、三重大学、明治大学、名城大学、横浜国立大学、立教大学、早稲田大学、春日井小牧看護専門学校、岐阜工業高等専門学校、東京スクール・オブ・ビジネス専門学校、豊田工業高等専門学校、旭丘高等学校、関西学院千里国際高等部、岐阜北高校、京都教育大学附属高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部、桜台高等学校、鈴鹿高等学校、世田谷学園高等学校、中央高等学校、東海高等学校、豊丘高等学校、半田高等学校、半田商業高等学校、福知山高等学校、前橋商業高等学校、横須賀高等学校、岐阜大学教育学部附属中学校、光陵中学校、坂祝中学校、守山北中学校

東証・企画担当者を突撃取材

「JPMXマネ部!」ラボ・ポータルサイト「始動!」

Writer
明治大学
清水 優葵

わが国最大の取引所グループである日本取引所グループ(JPX)の東京証券取引所・大阪取引所には、学校教育から社会人など幅広い層に金融経済教育を展開する「金融リテラシーサポート部」という専任部署があります。2022年4月には、これまでの金融経済活動を統一したブランド「JPMXマネ部!」を立ち上げ、10月4日の「証券投資の日」には、JPXの総合金融経済教育ポータルとして、「一人ひとりに寄り添ったお金に関する情報」を一元的に提供する「JPMXマネ部!」ラボ・ポータルサイトを、開始させるなど、新しい活動を展開しています。今回、SPOCK編集部では、JPXの金融経済教育の新ブランド展開や新サイト立ち上げの狙いを探るため、東京証券取引所を突撃取材。企画を担当している、東京証券取引所・金融リテラシーサポート部の原瑠理子さんにお話を伺いました。

教えてください。
原さん 今回、個人の皆さまに、投資や資産形成について学習する環境を整えたいとの考えから、これまでにない、総合的な金融経済教育に関する情報が得られる「場」として、このポータルサイトを開設することになりました。もともと、我々JPXでは、投資に無関心な層に力点を置いた各種金融経済コンテンツを提供してきました。小中高から大学・大学院生の教育現場や学校教員向けへの教材提供をはじめ、社会人も若年層からシニア層まで、また、退職後の老後資金の活用方法に至るまで、非常に幅広い層への情報提供に努めてきました。

「情報が溢れていてどこで学習していけばいいのかわからない」、「正しい情報で安心して学びたい」という声をお聞きするようになりました。そういうお声に我々、証券取引所としての中立・公正な立場から「安心できる正しい金融知識をお届けする環境の整備が重要」との考えから、新ブランド「JPMXマネ部!」を4月からスタートさせ、これまでの活動を5つの「マネ部!」という形に集約しました。

原さん まず、生徒・学生の皆さん向けとして、小中高向けは「スクールマネ部!」、USICの皆さんをはじめとした大学・大学院生向けには「キャンパスマネ部!」があります。また、社会人向けとしては、一般社会人向けの「セミナーマネ部!」、お勤めの方向けには、職場での金融経済教育の実践をお手伝いする「出張マネ部!」、そして、幅広い資産形成に係る情報を解説するWebサイトとして「東証マネ部!」と、この5つのカテゴリーで金融リテラシーの向上をご支援する体制を強化・改善してい

橋本 今回のJPXマネ部!ラボ・ポータルサイトを立ち上げる背景・狙いについて

「聞き手:SPOCK編集長・橋本航(一橋大)、マネージャー・清水優葵(明治大)」

図1 JPXマネ部!ラボ ポータルサイト





3大会ぶりの
対面開催！

USIC主催第7回 大学生対抗IRプレゼンコンテスト イベントレポート

Writer 東京大学 迫 崇明

主催- USIC (Union of Student Investment Clubs)

後援- SAAJ (公益社団法人 日本証券アナリスト協会), 日本取引所グループ, 一般社団法人 日本IR協議会

協力- SPOCK, STOCKVOICE, 複眼経済塾, logmi Finance

参加協賛企業- KUBOTA, RENOVIA, HOSOKAWA MICRON GROUP, SHIMHA CO., LTD., TAKARA & COMPANY, CHOR

参加大学サークル- 一橋大学, 明治大学, 東京大学, 愛知工業大学, 小樽商科大学, 高崎経済大学, 武蔵大学, TOWALY, Break outs!, 株式会社投資サークルAgents, AIT 株式会社Beckoning Cat, 株式会社投資サークルSTOCK Seekers, 投資研究サークルFree Fall, 慶應義塾大学, 中央大学, 同志社大学, 北海道大学, 桜美林大学, 西南学院大学, 実践株式会社, 証券研究会, 株式会社投資サークルWill, 北大金融研究会, 投資サークル, Seinan Investment

協賛企業・参加大学一覧 (記載されている会社名、ロゴは一般に各社の登録商標または商標です)

新型コロナウイルスによる猛威により、オンラインでの開催になった第5回IRプレゼンコンテストから早2年。感染症対策に十分配慮することで、今年度の第7回IRプレゼンコンテストは、2大会ぶりとなる対面での開催を無事に実施することができました。証券・投資の街である日本橋兜町の「KABUTONE」[カブトワン]に全国津々浦々から投資サークルの学生が集い、担当の上場企業のIRプレゼンを行い、お互いに聞き合うことで切磋琢磨し合いました。その様子は非常に白熱したものであり、会場には対面ならではの緊張感が漂っていました。

本コンテストは、学生投資連合USICに所属する大学の各投資サークルが、上場企業の成長性や魅力などを取材・研究して発表するイベントです。約10分間に凝縮されたIRプレゼンテーションを行い、審査で「企業紹介・事業の強み・リスク・財務分析・業界分析・業績分析・作成資料・プレゼン姿勢・コロナ対策」9項目から成る定量評価に定性評価を加え、上位校を「優勝・準優勝・第3位・審査員特別賞」として表彰します。第7回目となる本大会は、過去最大規模となる、13の上場企業と13大学のサークルが参加しました。昨年度の優勝校である明治大学 Break outs、や愛知工業大学株式研究会 Beckoning Cat、武蔵大学投資研究サークル Free Fall といった常連校はもちろんの事、今年度から新たにUSICに加盟した桜美林大学や中央大学もコンテストに参加し、質の高いプレゼンを行ってくれました。

大会当日である2月17日には、総勢100名を超える学生・企業担当者の方々がKABUTONEに集まりました。今年度の審査員は、会社四季報を活用した分析で高い知名度を持ち、25年間毎日欠かさず四季報読破を続けてきたことで知られている、複眼経済塾株式会社の渡部清二氏と、野村証券投資情報部長、野村ブライベート・エクイティ・キャピタル社長、野村興産顧問を歴任後、現在はフリーで金融教育の普及に尽力されているらっしゃる公益社団法人日本証券アナリスト協会の阪本安生氏の二名にお越し頂き、学生のプレゼンを評価していただきました。

トップバッターは桜美林大学投資サークル

新型コロナウイルスによる猛威により、オンラインでの開催になった第5回IRプレゼンコンテストから早2年。感染症対策に十分配慮することで、今年度の第7回IRプレゼンコンテストは、2大会ぶりとなる対面での開催を無事に実施することができました。証券・投資の街である日本橋兜町の「KABUTONE」[カブトワン]に全国津々浦々から投資サークルの学生が集い、担当の上場企業のIRプレゼンを行い、お互いに聞き合うことで切磋琢磨し合いました。その様子は非常に白熱したものであり、会場には対面ならではの緊張感が漂っていました。



講師派遣サービスについて、会社なのか、中高なのか、大学なのかというユーザー別の、どのように講師派遣によるセミナーが出来るのか、簡単に調べたり、問い合わせたいたりできるような設計している点です。それぞれの講師派遣セミナーの事例も紹介しており、活用いただきやすい機能を備えていますので、是非、大学の皆さんでもご活用ください。

学生投資連合USICも、「JPIXマネ部」ラボ」始動を記念して2022年6月に開催されたオンライン・シンポジウム「鼓

動」自立するための金融経済教育編」に出演し、「学生のうちから金融経済教育を学ぶ重要性」について、タレントの山口真由さんや、農林中金バリュエーションベストメンツ株式会社(NVIC)の奥野一成氏と対談する機会をいただいています。今回、JPIXがこれまでの金融経済教育の幅を持ち、そして、その内容を強化・改善するなかで、常に新たな試みを行っていることをお聞きしましたが、中立的立場にある取引所が、このような金融経済教育に注力されることで、さらに、わが国の金融リテラシーが向上していくことが期待されます。今後も、JPIXの動きに注目していきたいと思

図2 マネ部 ハッシュタグ機能

POPULAR

タグから探す



「#」が各コンテンツに埋め込まれているので、気になるワードやテーマから情報を検索できます。

図2 コインのアイコンもあり、初心者・中級者・上級者というレベル別の検索も可能で、株式やETF、先物/オプションといった商品別の検索もできます。第2の特徴として、動画コンテンツの充実を図っている点です。なかなか文字だけでは難しいといった場合でも、気軽に観ていただけのように構成されています。3点目は、どんな記事が読まれ、どんな動画が観られているのか、その内容はどんなものが多いのかが分かる「ランキング機能」で、情報のトレンドを一目でわかるようになっています。最後の4点目は、我々の

ます。

ただ、これまで、各金融経済教育の情報が対面やWebなどに点在していたので、「まとめて総合的にアクセスしたい」というニーズが個人の方から多数いただいていた。そうした声にお応えすべく、PCだけでなく、スマートフォン一台でもアクセスできるようにしたのが、「JPIXマネ部」ラボ「ポータルサイト」です。①生徒・学生から社会人まで全世代に、②投資未経験者、初心者、そして中上級者までの全レベルの内容を、③生活全般にかかるお金の話から、株式、投資信託、ETF、REIT、デリバティブまで幅広い金融リテラシーをお届けするというのが「特徴」だと考えています。

清水 こちらは実際のポータルの画面ですね。とてもカワイイ感じで見やすく感じますが、この「マ」というロゴマークが印象的です。

図1

原さん 実は、我々の「JPIXマネ部」ラボ」というネーミングは、「マネー」(お金)を「まねぶ」(学ぶの古語)を掛け合わせたものと、JPIXの様々な金融経済教育プログラムが集積している場所(研究所)をイメージしたことに由来しています。その「はじめの一步」として、「マネ部」最初の文字「マ」をモチーフにしたデザインなのです。

また、このポータルサイトには、4つの特徴的な機能を備えています。まず第1の特徴は「使いやすい検索機能」です。タグ

準備は早い方がいい

長期投資で着実に資産を増やすためにも
就活を有利に進めるためにも
金融情報は君にとって無関係ではないはずだ

マーケットの指標を
チェック

資産形成を
学ぶ

投資先の企業を
探す

株式投資や資産形成に役立つサイト!

クイックマネーワールド

<https://moneyworld.jp/>

トップページ

無料会員登録

株式会社QUICKは、日本経済新聞社グループの金融・経済情報サービス会社です。現在では、私たちの事業は金融業界だけにとどまりません。官公庁や地方自治体、個人投資家の方々まで、より広く、深く。たいせつな意思決定のサポートをさせていただくために、公正・中立な立場から、時代を先どりする新しいサービスに取り組みつけています。

インターン募集中：データ分析・メンテナンス、コメント執筆など体験してみませんか？ 詳しくはコチラ▶

株式会社QUICK 〒103-8317 東京都中央区日本橋兜町7-1 KABUTO ONE <https://corporate.quick.co.jp/>

Quick
Our Knowledge, Your Value.



一橋大学 x PCIホールディングス株式会社



明治大学 x ホソカワミクロン株式会社



慶應義塾大学 x 株式会社カナミックネットワーク



西南学院大学 x 蝶理株式会社

優勝

一橋大学 x PCIホールディングス株式会社

・3918
・プライム市場
自動車、家電などの組み込みソフトウェア開発が主力。業務ソフトウェア、IoT、半導体の開発も手がける。

準優勝

明治大学 x ホソカワミクロン株式会社

・6277
・プライム市場
粉体関連装置で業界首位。欧州強い。プラスチック薄型製造装置も展開。

審査員特別賞

慶應義塾大学 x 株式会社カナミックネットワーク

・3939
・プライム市場
自治体、医師会、介護サービス事業者向けクラウドサービスが収益柱。

審査員特別賞

西南学院大学 x 蝶理株式会社

・8014
・プライム市場
繊維商社の老舗。化学品事業を加え事業拡大。

会社四季報より引用

ルによる TAKARA&COMPANY のプレゼンでした。今年度より USIC に加盟し、円コンテスト初出場とは思えないほどの落ち着きで発表を終え、その後も次々と各大学による企業のプレゼンが進んでいき、あっという間に計13大学の発表が終了しました。いずれのチームのプレゼンも例年度よりレベルが高いと言われる中、今年度の入賞チームは左記のようになりました。

優勝校である一橋大学とタッグを組んだPCIホールディングスの担当者である阿部さんはインタビューで次のように話しました。

阿部さん「会社には調子の良い時もあれば、悪い時もあります。そして、悪い状態の時はどマーケットにありのままの状態を伝える説明責任が生じ、IRの重要度は高まります。しかし、その責任を果たさず

にIRから逃げ続けてしまうと、会社が評価されなくなってしまうのです。ひいては、その会社に出資しているファンドも投資家に対しての説明責任を果たせなくなってしまうため撤退してしまうという、負のサイクルが生まれてしまいます。

最近になってエンゲージメントやマーケットとの対話を重要視する意見が高まりつつありますが、IRの本質である「投資家との対話」に今まで光が当たっていないことが故の今の状態なのです。」

企業の株価を内在価値以上に釣り上げたり、悪いニュースをオブラートに包んで体裁よく見せたりすることがIRの目的ではないと筆者は考えます。投資判断に必要な情報を適切に、公平にマーケットに伝え、対話を通じて投資家との良好な関係を築くことこそがIRの目的ではないでしょうか。学生にとっては何かと馴染みの薄い分野ではあると思われませんが、本大会の目的でもある「企業のIRの大切さを理解するとともに、そのプレゼンや分析能力を獲得することを通じて、日本の持続的な成長に貢献する」ことが今大会を通じて少しでも達成に近づいたならば、USIC代表として嬉しく思います。

3大会ぶりとなる対面形式での開催を無事に挙げてきたことは、多忙な企業様のお力添えをはじめとした、大会関係者様のご支援によるものです。久々の対面開催となり、運営の不手際も目立つ中、最後まで大会開催に前向きにご協力くださいまして誠にありがとうございました。改めて運営一同感謝を申し上げます。

USIC運営



学生投資連合USIC × 三井住友トラスト・アセットマネジメント

SMTAMはUSICのビジョン「学生から金融大国へ」に賛同し
活動をサポートしています!



2022年実施 協働勉強会

2022年
8月

対面開催

SMTAMの機関投資家との向き合い方
営業業務に迫る



夏休み期間に多くの学生が参加!

参加者の声

- 機関投資家営業というテーマ選択が面白かった。
- 学生の立場ではなかなか知りえない立場の方にお話して頂けたのは良い機会となりました。

2022年
10月

ハイブリッド
開催

資産運用会社の二大柱!
ファンドマネジャーとアナリストが語る!
～最新金融事情2022～



勉強会后、講師に質問する学生も多数!

参加者の声

- アットホームな感じでとても楽しくお話が聞けました。
- 概要説明が簡潔かつわかりやすく、多くの時間が質問形式でのお話だったのが初學者の私にも聞きやすく、興味をそそる勉強会でした。

2023年も様々なテーマで勉強会を開催します!
是非ご参加下さい!

勉強会の予定は
こちらを
チェック!



●当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。

